

学校法人ISI学園 専門学校長野ビジネス外語カレッジ

2023年度 シラバス

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	貿易商務論 I		（ NGB22C ）
講義名（コード）	貿易商務論 I		（ NGB22CX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	田中 清夫	時間数	30
成績評価教員	田中 清夫	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	海外との取引を行う会社で、輸出入を担当する為に必要な基本的な知識を身につける
全体の内容と概要	国内の売買取引を基本にして、国境を跨った海外との売り買いの取引で、気をつけることを身につけ、実際の輸出入取引を理解し、個人でも実践できることを目指す。
授業時間外の学修	特に貿易用語について、理解し使えるように復習をすること
履修上の注意事項等	授業では、グループ学習も行うので、積極的な参加が必要

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	国内の商取引の仕組みを理解し説明できる	オリエンテーションとして、授業の進め方を説明。国内の商取引手続きについてグループで検討し発表する。
2	国内売買取引契約を理解し説明できる	国内売買取引契約について説明する。グループで、どんなリスクがあるか検討し発表する。
3	貿易取引と国内取引の違いを理解し説明できる	貿易取引契約について説明する。グループで、国内取引と貿易取引の違いを検討し発表する。
4	貿易取引の関係者を説明できる	貿易取引の関係者を説明する。グループで国内取引の関係者と比較して貿易取引で特に必要になる関係者と役割を検討し発表する。
5	貿易取引の流れを説明できる	貿易取引の全体的な流れを説明する。グループでリスクを検討し、発表する。
6	貿易取引の用語を説明できる	貿易取引の用語を説明する。グループで、よく理解できない用語を選んで、その内容を調べて説明する。
7	貿易取引の用語を説明できる	グループで理解できない用語を選んで、その内容を調べて説明する。
8	輸出取引の手続きを説明できる	輸出取引について説明する。グループで、輸出に必要な書類を検討して、どんな書類があるか発表する
9	輸入取引の手続きを説明できる	輸入取引について説明する。グループで、輸入に必要な書類を検討して、どんな書類があるか発表する
10	ものの移動、書類の移動、金の移動があることを説明できる	貿易取引を「もの」「書類」「カネ」に着目して説明する。グループで、流れを図解して発表する。
11	信用状の仕組みを説明できる	信用状の仕組みを説明する。輸出グループ、輸入グループに別れて、信用状を作って発表する
12	信用状の記載事項を説明できる	信用状の仕組みを説明する。輸出グループ、輸入グループに別れて、信用状を作って発表する
13	テスト前の総復習	貿易取引の要点と用語について復習し、知識の定着を行う
14	まとめとテスト	貿易取引の要点と用語を含むテストを行う
15	フィードバック	結果の説明

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	「これならわかる 貿易書類入門塾」
参考文献・資料等	必要に応じて、コピー等を配布します。
備考	グループ学習が多いので積極的な参加が必要